

## 146 No. 8: マレーシア食品見本市—本県企業の即席麺人気 (令和元年 10 月 29 日)

マレーシアは、マレー系約 69%、中国系約 23%、インド系約 7% という多民族国家で、マレー系の人々はマレー語を話し、イスラム教を信仰。中国系は中国語を話し、仏教、儒教、道教などを信仰。インド系の多くはタミール語を話し、ヒンドゥー教を信仰している。このように民族、宗教、言語が渾然一体となっているマレーシアにおいて、最もポピュラーなローカルフードといえるのが「ラクサ」である。

ラクサはニョニヤ料理の一つで、出汁が魚やエビ等の海産物からとられており、ムスリムに禁じられている豚肉が使われていない。

ラクサのインスタントラーメンは、アメリカの THE RAMEN RATER において 2016 年から 4 年連続で世界一に選ばれるほど人気が高い。

こうした中、9 月 24 日～27 日の 4 日間、マレーシア最大級の総合食品見本市である「Food & Hotel Malaysia」がクアラルンプールで開催され、本県から、東京拉麺（足利市）とフタバ食品（宇都宮市）が出展した。

即席麺・ミニカップ麺を製造販売する東京拉麺の商品は、日本初のミニサイズが特徴で、味の種類も複数あることが魅力だ。パッケージデザインにキュートなキャラクターをあしらった、大きな注目を集めていた。既にマレーシア国内のダイソー等で販売されているため商品を知っている人も多く、バイヤーからの引き合いも多かった。簡単手軽に美味しく食べられる東京拉麺の商品は世界の人々に愛されている。現在整備中のミャンマー工場が稼働すれば、ますます販路が広がるだろう。

フタバ食品のアイスクリームも多様だ。試食を一つに絞り込めず、全種類食べるバイヤーもいたが、どれも美味しいと笑顔を見せていた。二年前には「モナカアイス」を知らず、外側の「最中」を外して中のアイスだけ食べようとする人もいたほど。その後「北海道牛乳モナカ」等がファミリーマートや伊勢丹等で販売され、馴染みのある商品となり、「見たことがある」「食べたことがある」という反応が非常に多かった。

なお、THE RAMEN RATER では、2012 年に「緑のたぬき」が 1 位になって以来、2014 年の「オタフクお好みソース味焼そば」の 4 位が最高順位となっている。東京拉麺の商品が世界一に輝く日が待ち遠しい。

毛塚 隆弘(けづか たかひろ)

栃木県香港事務所 所長。

1993 年県庁入庁。産業政策課、国際課などを経て日本貿易振興機構（ジェトロ）に出向。2017 年 4 月から現職。栃木市出身。



【イベントの様子】